

『学術論文校閲サービス』開始による自社の
特殊技術の活用と九州全域への市場拡大について

ホープ印刷 株式会社

設備投資

事業者の概要

企業名	ホープ印刷 株式会社	業種	印刷・同関連業
代表者名	代表取締役 松本 徹	T E L	096-338-0500
設立	昭和55年5月	F A X	096-386-3001
住所	熊本市北区龍田弓削1丁目4-12	U R L	http://www.hope-printing.co.jp
資本金	1,500万円	E - m a i l	matsu@hope-printing.co.jp
従業員数	25人	担当者名	松本 徹

当社が独自に高めてきた校閲の技術と、築き上げてきたサービスにより、これまで県内の学校関係を中心に販路を開拓してきたが、今後はさらにシェアアップを目指していきたい。今回の事業に取り組んだことでサービスの満足度が高まることにより、既存クライアントの人脈を活用した営業展開や口コミなどによって新規クライアント獲得が期待できるほか、営業範囲を熊本県内から九州一円まで広げたいと考えている。また創業以来、障がい者の雇用を常に確保してきたが、今回導入した小ロットデジタル印刷機は日々のメンテナンス性に優れ、スキルの取得期間も従来のオフセット印刷機に比べて短期間で済むため、地域の障がい者雇用をさらに促進できると思われる。コスト削減や利用者増などで利益率向上が実現できると考えており、従業員の賃上げや新規雇用につなげていきたい。

事業内容・経緯

当社は障がい者雇用を理念とした印刷会社として創業以来、ポスター、パンフレット、封筒、伝票、名刺など印刷物全般を手がけてきており、ニーズを汲み取った効果的な手法の選択や企画提案を行ってきた結果、クライアントから信頼を獲得している。また、以前は印刷会社しかできなかった組版もパソコンの普及などにより、個人でも簡単にできるようになり、文章作成ソフトで作成したデータの入校が増えてきており、様々なデータに対応できる体制を整備してきた。また、学校関係の仕事を通して、クライアントの満足度を高めるために通常の校正に加えて、校閲のサービスを提供している。長年ノウハウを蓄積してきた校閲のスキルと学術論文等に対応できる小ロットのデジタル印刷の技術を組み合わせた新サービスを実現し、さらなる満足度向上を目指すため、ものづくり補助金を活用して小ロットデジタル印刷機を導入した。

事業の成果

単に文字のミスをチェックする校正と違い、文章の流れから誤字や内容の矛盾等の間違いを見つける校閲はこれまで長年に亘って校閲サービスを提供してきた経験の蓄積によって獲得した、他社にはない強みである。また、従来小ロットでの印刷になると1冊あたりのコストが割高になっており、クライアントのニーズに応えるためには解決すべき課題だった。そこで、原稿を金属板に焼いてインクで刷る従来の印刷ではなく、金属板(版)を作らずにすぐにレーザーで印字できる小ロットデジタル印刷機を使うことで課題解決を図った。これにより小ロット印刷のコスト減ならびに高品質な印刷を実現できたほか、締め切りを印刷直前まで伸ばすことができるようになり、クライアントにとっても原稿執筆にかけられる時間が増える等、満足度の高いサービスの提供が可能となった。



▲長年蓄積した校閲技術はクライアントからの満足度も高い



▲龍田弓削にある同社



▲今回導入した小ロットデジタル印刷機